

食の楽校（祖父母ふれあいフェスタ）

○日 時：平成20年10月17日（金）9：20～13：00

○場 所：学校体育館

○実施主体：田村市立関本小学校

○対象者：約150名（全児童、教師、祖父母ほか）

○取組内容

児童が収穫・栽培した米や野菜を使って自らが炊飯・調理した料理を、祖父母や地域の方々といっしょに会食したり、縄結いなどのわら細工づくりをいっしょに体験する、恒例行事「祖父母ふれあいフェスタ」が開催されました。

稲わらを使った「縄結い」や「とば編み」、「鍋敷き作り」では、最初のうちはわらがまとまらず、かなり手こずっていましたが、祖父母の手ほどきにより、だんだんと上手に結っていくことができました。また、祖父母は結った縄を2、3本組ませて太縄にしたり、「とば」を短時間で編み上げていき、その様子を児童は興味深そうに見つめていました。

その後、「おにぎり作り」と「豚汁作り」の二班に分かれて昼食の準備がスタートし、その間、校長先生から食育に関する今年度の活動状況の報告がありました。また、今年収穫した野菜（大根、じゃがいも、さつまいも、ごぼうなど）がステージ上にたくさん並べられ、特にじゃがいもがたくさん収穫できたとの話がありました。

自宅では祖父母と話す機会が少なくなっていますが、会食の時間には児童と祖父母がテーブルに同席し、話しかけたり、豚汁のおかわりをよそってあげたりと積極的な交流が行われました。また、9月に作った「自家製シソジュース」も参加者に振る舞われ、祖父母からは「飲みやすい」と好評でした。

食後は、恒例の「フェスタの歌」を児童全員で合唱し、楽しいフェスタが終了となりました。



縄結いの状況



おにぎり作りの状況



祖父母との会食（昼食）状況